

有栖山公園通信

其之五

平成十四年八月十八日（白秋祭）
有栖山公園（<http://www.win.ne.jp/~budou/>）
ありすやま ぶどう（budou@saber.win.ne.jp）

「あ……」

ふと漏れた声に俺は慌てた。あいつの、居るはずのないあいつの姿が見えて、目で追っていた。

「どつしたの？ 孝之君？」

「いや、なんでもない」

動揺している。慌てて視線を逸らせ、取り繕うすべを考え始めていた。

「今の人……水月に似てたね……」

「っ……」

悲しみとも怒りとも違う声の響き。そしてその言葉に驚きの気持ちを隠すことは出来なかった。声すら出ないほどに。遙はふと空を見上げ、そして視線を俺に向けた。

「私が退院して一年になるんだね。それに、水月がこの町を後にしてから……」

懐かしむように呟いた。そして何かを思いついたように言葉を続けた。

「ねえ、孝之君？ あの丘、久しぶりに行ってみない？」

「白陵か？ 坂、結構きついぞ。だいじょうぶか？」

退院から1年経った今、体力的には何も問題ないことは判っていた。とっさに出た言葉は、あの丘から遠ざかりたい気持ちからだった。

あの丘には……

「大丈夫だよ、私は。ね？ 二人であの丘に行こ？」

「あ、ああ」

遙に押され、あの丘に足を向けた。白陵柵の裏手にある思い出の丘に。

丘に向かう途中、二人は無言だった。それは永遠に続く、不安を覚

えるほど長い時間を感じた。白陵柵名物の長い急な坂を登ると、そこに

ようやく門が見えた。門をくぐり裏手に続く通路を進み、そして丘に登

った。頂上に着くと眼下には自分達の住む町が一望できた。あの頃と何

も変わらない、ずっと変わらないと思える場所。遙はゆつくりとした動

きで大きな木に片手を添え俺の事を見つめた。そして静かに話した。

「懐かしいね」

「あ、ああ……」

「私が孝之君に告白した場所。私が孝之君から告白された場所。」

「そう……だな」

そうだ、この丘は二人の思い出の場所。でもそれと同じくらいに水月との思い出もある場所。ここにはそんないろんな思い出がある。遙は視線を逸らし眼下の街を眺めると、もう一度俺を見つめた。

「ねえ、孝之君？ 水月の事、今でも気にしてる？」

「あ、いや。ごめん。気にしてるつもりは無かったけど……」

気にしてないといえは嘘になる。だけど、そうだとも言えなかった。

「ううん、気にしていいんだよ？」

「え？」

あまりの予想外の言葉に驚いた。気にしていい？ 一体……？

「私がいらない3年間。水月と過ごした時間。その時間があつたから今

の孝之君がいるんだよ？ 私の事を優しく包んでくれる今の孝之

君がいるんだよ？」

遙はゆつくりと言葉を続けた。

「だから孝之君はね、何も謝ることはないの。それに水月の事、私も嫌いじゃないよ？ 孝之君が水月のことを想って気にするのは、自然な事なんだよ」

「自然な事……？」

「人は過去を築き直す事は出来ない。そして、過去がないと未来を築くことも出来ないの。全ての過去は今に、そして未来に続いているの」

過去は、未来に続いている……

「ねえ？ 孝之君は今、私の事好きだよ？ だからずっと一緒にいてくれるんだよね？」

「ああ、もちろん」

その返事に偽りは無い。遙が好きだという気持ちに嘘は無い。

「それなら何も心配することないよ、孝之君。水月を好きだった事も病院で悩んでいた事も全部、今につながってるんだから。あのときの想いを孝之君が持つてるから今の孝之君が居るんだよ」

「は、はるか……」

あまりにも優しい、俺を真っ直ぐに強く愛してくれる気持ちで心が満たされていった。

「孝之君……」

ふつと頬に触れる指先の感触。頬に伝う涙の感覚。

「いいよ孝之君、一杯泣いて。それが孝之君のやさしさだから」
俺を包み込むように遙が抱きしめてくれた。そしてやさしくそっとキスをくれた。

未だに水月の事を忘れられないでいる俺ですら、愛してるってくれた。遙はすべてを俺として愛してくれると行ってくれた。俺も遙の事を愛してる。これからは、俺の全てを遙に捧げよう。ここから続く未来の全てを遙に尽くそう。

それが俺の出来る事。俺の望む永遠は……遙と共に……

こんにちは。本日は御立寄り&お手に取っていただきありがとうございます。
「ありすやま ぶどう」と申す、しがないSS書き同人屋です。

ペーパー手抜きです(^-^); 夏コミ用をそのまま流用してます。ちょっとした物を書いてみたのですが、さすがに一週間で新ネタは出てこなかったです。遙エンドの後を書いたものですが、以前とはちょっと違うかな？と。多少なりとは、練習の成果が見られればよいのですが……そして、はじめて遙を書いたような気がします。遙らしく見ると良いのですが……
全く新しい作品を書けるようになりたいです。がんばります。プロットはあっても、それに向き合う根性が欠如してるので(^-^); だめですねえ。
ということで、今後も精進いたします。

扇子など購入されたもので不具合がありましたらメールにてご連絡ください

今後のイベント参加予定

9/22	TwoHeart (都産貿)
11/17	Rumbling Pageant 2 (都産貿)
12/30	コミックマーケット 63 (有明)

常連の方々申し分けない。またイベント組み込みますので孝之以上のヘタレ管理人を許してくださいませ。おねがいします。見捨てないで。久々に連荘で組み込みましたが……次はやはり、「あの日」でしょうか。さて、どんなものになるのやら……

では、今後ともよろしくお願いたします。